

文化芸術創造拠点形成事業

| | |
|-------------------|--------|
| ■小学校アウトリーチ事業 | P.1～2 |
| ■ひらかたジュニアブラスバンド事業 | P.3～4 |
| ■中学校オーケストラ鑑賞事業 | P.5～6 |
| ■コミュニケーション授業 | P.7～8 |
| ■市民総合文化祭 | P.9～11 |

小学校アウトリーチ事業について

1. 目的

市立小学校に通うすべての児童に対して、平等に文化芸術に触れる機会を創出するとともに、枚方ゆかりの実力ある若手アーティストを起用することにより、本事業の取り組みを通じて、若手アーティストの育成にも繋げる。

2. 取り組み内容

(1) 概要

枚方市アーティストバンクに登録された枚方にゆかりのある若手芸術家を小学校に派遣し、児童に実演を披露する。在校中に全児童が等しく体験できるように、1学年概ね100人までの小学校は2年に1度、概ね100人以上の大規模校は毎年実施する。

(2) 対象学年

市立小学校 5・6年生

(3) 必要時間数

1時限分（ジャンル：音楽、ダンス、日本舞踊）

(4) 登録アーティスト（令和4年12月末現在）

団体登録者数：23団体 個人登録者数：25人

※枚方市アーティストバンクは、本市ゆかりの実力ある若手芸術家を発掘し、活動の機会を提供することで若手芸術家の支援を図るとともに、市民一人一人が地域において文化芸術に触れる機会を創出するための地域人材の活用と地域の文化芸術に対する関心の向上に貢献することを目的に設置。



3. これまでの取り組み実績

| 年度 | 実施校 |
|----------|--------|
| 平成 28 年度 | 15 小学校 |
| 平成 29 年度 | 15 小学校 |
| 平成 30 年度 | 15 小学校 |
| 令和元年度 | 15 小学校 |
| 令和 2 年度 | 16 小学校 |
| 令和 3 年度 | 中止 |

※新型コロナウイルス感染症の影響から、令和 2 年度は当初 22 小学校の実施予定から 16 小学校となり、令和 3 年度については、中止となった。

4. 令和 4 年度の取り組み

| 年度 | 実施校 |
|---------|--------|
| 令和 4 年度 | 27 小学校 |

平成 28 年度から平成 30 年度の実施内容では、希望制であったことから、実施校が少なく、アウトリーチを体験できない児童が存在したが、令和元年度からは、希望制ではなく、全学校参加（大規模校は毎年実施、小規模校は隔年で実施）とし、市立小学校に通学していれば 5 年生か 6 年生で必ず本事業が体験できるように改善した。

5. 今後の課題

本事業は、枚方市アーティストバンクに登録されている枚方市にゆかりのあるアーティストを派遣して運営していることから、事業の継続には、同バンクの存続が必要不可欠であることから、引き続き、バンクへの登録に繋げる取り組みを進めていく必要がある。

ひらかたジュニアブラスバンド事業について

1. 目的

市内在住・在学の中高生による吹奏楽団を結成し、総合文化芸術センターにてプロの指導による練習を重ねることで、吹奏楽に関心のある子ども達の演奏技術を高めるとともに、同センターでの発表機会の創出や、プロと交流することにより、子どもたちの夢を育み、将来の文化芸術を担う人材を育成する。

2. 取り組み内容

(1) 概要

本市と連携協定を締結している「大阪フィルハーモニー交響楽団」のメンバー等を講師に迎え、公募により選抜された中高生のジュニアブラスバンドを結成し、楽器別にプロが定期的に指導・育成を行う。

また、目標をもって取り組めるよう、総合文化芸術センターでの発表の機会を提供する。

(2) 募集人数

60名（書類審査、グループ面談により選考）

(3) 参加条件

- ①枚方市内在住、在学の中学1年生～高校3年生（楽器経験者）
- ②楽器、譜面台、楽器消耗品を持参できる方。
- ③打楽器について、スティックを持参できる方。
- ④申し込み時点で希望楽器の経験年数が概ね半年以上ある方。
- ⑤練習・演奏会本番に参加可能な方。
- ⑥自主的に取り組み、熱意をもって参加できる方。
- ⑦保護者の承認を得られる方。

(4) 募集パート

木管楽器（フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン）

金管楽器（トランペット、トロンボーン、ホルン、ユーフォニアム、チューバ）

打楽器（コントラバス）

3. これまでの取り組み実績

| 年度 | 取り組み内容 |
|-------|--|
| 令和2年度 | 市文化芸術アドバイザー・市川克明氏の企画事業として、公募により「ひらかたジュニア吹奏楽団“WINDS”」を中高生38名で（中学生23名、高校生15名）結成。プロの講師の指導のもと、総合文化芸術センターでの演奏を目標に練習を開始。 |
| 令和3年度 | 市川克明氏を中心としたプロの講師の指導のもと練習を重ね、令和3年9月の総合文化芸術センター開館記念公演において、大阪フィルハーモニー交響楽団メンバーとの共演による演奏を実施。また、令和4年3月には、同センターで講師と“WINDS”による独自の演奏会を実施した。 |

4. 令和4年度の取り組み

令和2年度に結成した「ひらかたジュニア吹奏楽団“WINDS”」での取り組みを踏まえ、さらなる事業充実を図るため、本市と連携協定を締結している「大阪フィルハーモニー交響楽団」のメンバー等を講師に迎え、新たに「ひらかたジュニア・ウインド・オーケストラ」を公募により中高生44名（中学生18名、高校生26名）で結成。

(1) 講師

| | |
|---|--------------------|
| 金井 信之（音楽監督・指揮） | 元大阪フィルハーモニー交響楽団 |
| 井上登紀（フルート）、大島弥州夫（オーボエ）・船隈慶（クラリネット）、日比野希美（ファゴット）、蒲生絢子（ホルン）、篠崎孝（トランペット）、福田えりみ（トロンボーン）、川浪浩一（チューバ）、山田俊介（コントラバス）、中村拓美（打楽器） | 大阪フィルハーモニー交響楽団メンバー |
| 陣内亜紀子（サクソフォーン） | ミ・ベモルサクソフォアンサンブル |
| 小寺香奈（ユーフォニアム） | 和歌山大学准教授 |

(2) 練習 令和4年11月～令和5年2月の期間で10回程度

(3) 演奏会 令和5年2月19日（日）16時から（入場無料）
総合文化芸術センター 関西医大 大ホール

5. 今後の課題

令和2年度・3年度に実施したひらかたジュニア吹奏楽団“WINDS”は、総合文化芸術センターの開館記念公演で大阪フィルメンバーとの共演と独自の演奏会をもって終了とする事業であったが、本事業は、令和4年度以降も、継続した取り組みを目指していることから、団員の継続的な加入など、安定した事業運営が必要。

中学校オーケストラ鑑賞事業について

1. 目的

小学校でのアウトリーチ体験を経て、中学在学中に文化芸術ホールでの本格的な公演を体験することで、ホール公演の迫力や素晴らしさに直に触れる機会とする。

2. 取り組み内容

(1) 概要

市内の全 19 市立中学校の 1 年生が、本市と連携協定を締結している大阪フィルハーモニー交響楽団の生演奏を本格的なホール空間で観賞する。

(2) 場所

総合文化芸術センター 関西医大 大ホール

(3) 公演内容

曲目は聞き覚えのあるクラシックの名曲や映画音楽など中学生にも馴染みのある楽曲とし、楽器紹介や指揮者のトークなどを盛り込んだ公演としている。

(4) 公演時間

1 時間程度



3. これまでの取り組み実績

| 年度 | 実施日 | 場所 | 対象校 |
|-------|------|-------------------------|-------------|
| 令和元年度 | 9月5日 | 関西外国語大学 谷本記念講堂 | 11校 ※希望校 |
| 令和2年度 | 中止 | 関西外国語大学 谷本記念講堂 | ※希望校 |
| 令和3年度 | 中止 | 総合文化芸術センター 関西医大 大ホール | ※全校 |

※新型コロナウイルス感染症の影響から、令和2年度及び令和3年度については、中止となった。

4. 令和4年度の取り組み

| 年度 | 実施日 | 場所 | 対象校 |
|-------|----------------------------|-------------------------|------------|
| 令和4年度 | 2月6日午後 2月7日午前 2月7日午後 | 総合文化芸術センター 関西医大 大ホール | 19校 ※全校 |

指揮：中田延亮（なかた のぶあき）氏

プログラム（予定）

- ・J.ウィリアムズ／映画「スターウォーズ」メインテーマ
- ・【弦楽器紹介】
- ・モーツァルト／「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より 第1楽章
- ・【管打楽器紹介】
- ・アンダーソン／そりすべり
- ・ビゼー／歌劇「カルメン」第1幕への前奏曲
- ・チャイコフスキー／バレエ組曲「くるみ割り人形」より“花のワルツ”
- ・エルガー／行進曲「威風堂々」第1番
※アンコール有

令和元年度は希望制で実施していたが、令和3年度より対象校を全中学校として実施。

令和2年度・3年度が新型コロナウイルス感染症の影響から中止となったため、全中学校での実施は、令和4年度が初めてとなる。

5. 今後の課題

事業を継続的に実施していくため、教育委員会と連携しながら、生徒の移動手段の確保などの課題解決を図っていく必要がある。

コミュニケーション授業について

1. 目的

小学校在学中に優れた文化芸術体験の機会を設け、豊かな感性や創造性、人間性を育む。

2. 取り組み内容

(1) 概要

家庭用ゲーム機やスマートフォンなどの普及により、子どもたちのコミュニケーション能力の低下が顕著になっていることも踏まえ、本市の文化芸術アドバイザーである平田オリザ氏を講師に迎え、演劇の手法を用いて、コミュニケーションの楽しさや大切さを学ぶ、演劇ワークショップを実施する。

(2) 対象学年

市立小学校 6年生

※希望制（最大 20 日間）

(3) 必要時間数 1クラス3時限分

| | |
|------|---|
| 1時限目 | 用意された台本をもとにグループワークを実施。台本を完成させてグループごとに発表 |
| 2時限目 | 1時間目の各グループの発表を参考にしながら、オリジナルの台本を作成 |
| 3時限目 | 2時間目で作成した演劇の発表と平田オリザ氏による講評 |



3. これまでの取り組み実績

| 年度 | 実施校 | 実施日数 |
|-------|-----|------|
| 令和元年度 | 7校 | 10日間 |
| 令和2年度 | 9校 | 9日間 |
| 令和3年度 | 4校 | 5日間 |

※令和3年度については、当初8小学校10日間の予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響から一部中止となった。

4. 令和4年度の取り組み

| 年度 | 実施校 | 実施日数 |
|-------|-----|------|
| 令和4年度 | 12校 | 19日間 |

令和元年度から令和3年度までの3年間は、平田オリザ氏による授業を10日間実施してきたが、小学校からの希望校が多い中、限られた数しか実施できないことが課題であったことから、実施校数を増やすため、令和4年度から20日間の実施とした。

5. 今後の課題

事業のさらなる普及・拡大に向けて、各学校の担任教師によるコミュニケーション授業を実施する等の取り組みを進めていく必要がある。

市民総合文化祭について

1. 目的

生涯学習市民センターなどで行われている市民の日ごろの文化芸術活動の発表機会の提供とジャンルを超えた交流や賑わいを創出する。

2. 取り組み内容

(1) 概要

合唱や演劇をはじめ、落語、絵画、写真など、市民の日ごろの文化芸術活動の発表の場として、総合文化芸術センターで開催する文化芸術の祭典で、各文化芸術団体の協力を得ながら開催する。

《協力団体》

枚方合唱協会、枚方吹奏楽協会、枚方人形劇連絡会、
枚方演奏家協会、落語サークルなぎさの会、枚方演奏家クラブ、
枚方三曲協会、枚方市舞踊協会、枚方演劇連盟

(2) 内容

| | |
|---------|--|
| 展示部門 | 絵画、書道、写真 |
| 短歌・俳句部門 | 短歌・俳句 |
| 舞台部門 | 舞踊（日本舞踊）、演劇、三曲、人形劇、アラカルト、落語、合唱、吹奏楽、クラシック音楽 |

(3) 期間

1週間程度



3. これまでの取り組み実績

(1) 令和3年度

| 分野 | 開催日時 | 会場 | 出演組数 (出展数) | 出演者数 | 来場者数 |
|---------|---|------------------|---------------|------|--------|
| 合唱の部 | 9月11日(土) 10時～16時35分 | 関西医大 大ホール | 32 | 630人 | 1,144人 |
| 舞踊の部 | 9月12日(日) 11時～17時 | 関西医大 大ホール | 27 | 111人 | 622人 |
| 演劇の部 | 9月12日(日) 13時～17時45分 | 関西医大 小ホール | 6 | 76人 | 285人 |
| クラシックの部 | 9月18日(土) 10時～17時45分 | 関西医大 小ホール | 41 | 72人 | 532人 |
| 人形劇の部 | 9月18日(土) 10時～16時40分 | ひらしん イ ベントホール | 中止※ | | |
| 三曲の部 | 9月19日(日) 13時～16時 | 関西医大 小ホール | 10 | 92人 | 214人 |
| 吹奏楽の部 | 9月20日(祝) 13時～15時30分 | 関西医大 大ホール | 5 | 200人 | 600人 |
| 落語の部 | 9月23日(祝) 13時～16時 | 関西医大 小ホール | 11 | 23人 | 209人 |
| 絵画 | 9月15日(水)～20日 (祝)10時～18時(最 終日は16時まで) | ひらしん 美 術ギャラリー | 108 | — | 1,313人 |
| 書道 | | | 45 | — | |
| 写真 | | | 16 | — | |
| 短歌 | 9月11日(土)～17 日(金)10時～18時 | マルチスペー ス1 | 58 | — | 2,051人 |
| 俳句 | | | 76 | — | |
| 計 | | | | | 4,919人 |

(2) 令和4年度

| 分野 | 開催日時 | 会場 | 出演組数 (出展数) | 出演者数 | 来場者数 |
|---------------|--|------------------|---------------|--------|--------|
| 舞踊の部 | 8月27日(土) 11時30分～15時40分 | 関西医大 大ホール | 27 | 94人 | 453人 |
| 演劇の部 | 8月27日(土) 13時～17時10分 | 関西医大 小ホール | 6 | 34人 | 304人 |
| 三曲の部 | 8月28日(日) 12時30分～17時 | 関西医大 小ホール | 8 | 133人 | 351人 |
| 人形劇の部 | 8月28日(日) 10時～17時45分 | ひらしん イ ベントホール | 11 | 22人 | 199人 |
| アラカルトの部 | 9月2日(金) 13時～18時 | ひらしん イ ベントホール | 13 | 116人 | 213人 |
| 落語の部 | 9月3日(土) 13時～16時30分 | 関西医大 小ホール | 10 | 15人 | 231人 |
| 合唱の部 | 9月3日(土) 9時45分～17時50分 | 関西医大 大ホール | 51 | 1,038人 | 1,807人 |
| 吹奏楽の部 | 9月4日(日) 13時～17時30分 | 関西医大 大ホール | 14 | 390人 | 995人 |
| クラシック音楽 の部 | 9月4日(日) 12時30分～16時 | 関西医大 小ホール | 20 | 48人 | 325人 |
| 絵画 | 8月27日(土)～9月4 日(日)10時～18時(最 終日は16時まで) | ひらしん 美 術ギャラリー | 57 | — | 1,185人 |
| 書道 | | | 13 | — | |
| 写真 | | | 20 | — | |
| 短歌 | | 創作活動室 | 35 | — | 482人 |
| 俳句 | | | 98 | — | |
| 計 | | | | | 6,545人 |

ダンスや大道芸等の出演要望等もあったことから、令和4年度より「アラカルトの部」を創設して実施した。また、短歌・俳句部門について、より多くの方に観覧いただくため、会場を「マルチスペース」から「創作活動室」に変更した。

4. 今後の課題

令和4年度に創設した「アラカルトの部」について、「クラシック音楽」に出演される音楽団体とのすみ分けが必要。